

日本発ドイツ便り : Spreewald

ベルリンからバスで日帰りの遠足に行ってきました。長い間「行ってみたい!」と思っていた場所、Spreewald (シュプレーヴァルト : シュプレーの森) です。

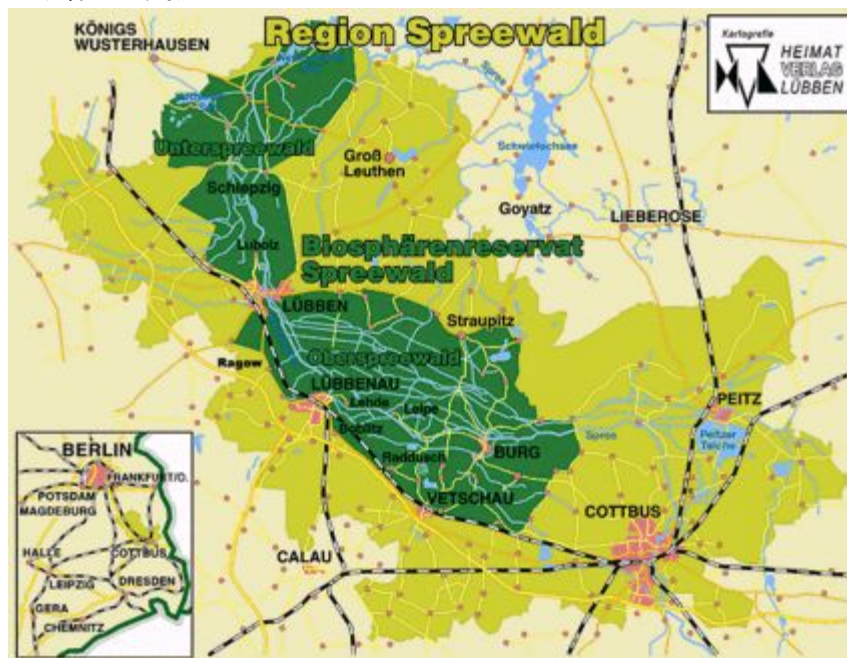
まずは Spreewald とは？

- ブランデンブルク州の中、ベルリンの南東に約 100 キロ
- 長さ 75 キロ、幅 15 キロの細長い低地帯で、森や草原で覆われた古代の川床を網の目のように、無数の川が流れている。総面積 474 平方メートル
- この森が出来たのは約 2 万年前の氷河時代末！
- シュプレー川が約 1000 キロの水路をつくっている。
- ユネスコの生物生息圏保護区として登録されている。
- もともとスラブ系の民族が入植していたため、今でもスラブの風習や言葉が残っている。
- 森の中の運河は伝統的な木でできた Kahn (カーン : 小舟) で観光できる！

どうです？行ってみたいくなりませんか？

うまい具合にベルリンからのバスツアー (所要時間 7.5 時間) があったので、参加してきました。

ベルリンを発って 1.5 時間くらい。車窓から、ベルリンの大都会から、のどかな田園地帯に変わっていく風景を見ながら、今回の目的地 Burg (ブルク) という街に向かいます。(Spreewald には他にも Lübben (リュッベン)、Lübbenau (リュューベナウ) というちょっと大きな街があり、そこなら、ベルリンから電車で 1 時間位でたどり着けます。)



途中、バスの車窓から、コウノトリや Spreewald 名産のピクルスに使う、小さな Gurke (グルケ : キュウリ) の収穫も見ることができました。(地図の濃い緑の所が Spreewald です)

バスが目的地に到着！Kahn の乗り場です。まずはここで遅めの朝食を兼ねて、名物の Gewürzgurke (ゲビュルツグルケ : キュウリのピクルス) とバターをぬったパンの試食会。

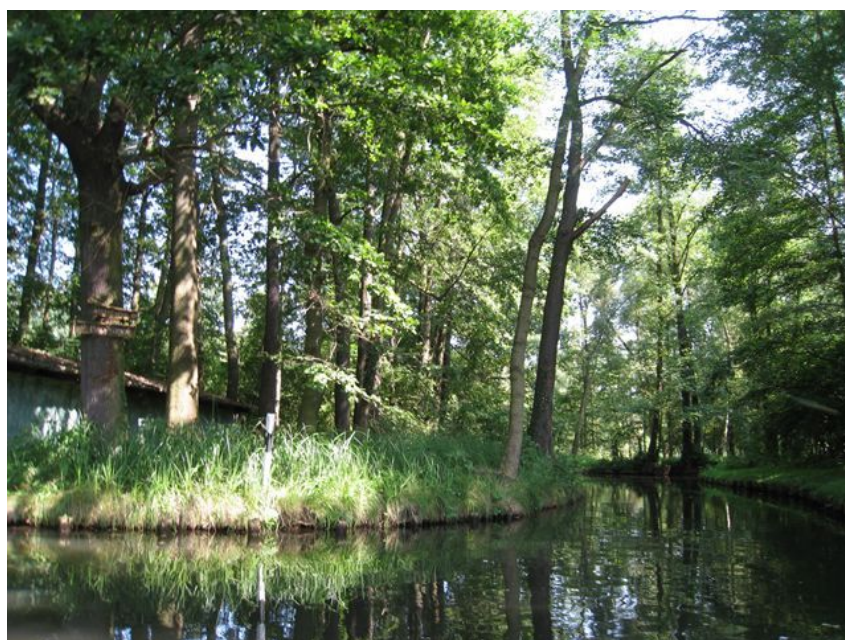
小さなキュウリで、カリカリして酸っぱくて、とても美味しいです。もちろんお土産に買って帰れます。(ドイツでピクルスといえば Spreewald! というくらい、美味しいことで有名なんですよ。)



これが Kahn です。一気に乗り込むと重さのバランスがとれず、かなりゆらゆら。全員乗り込むのに、ひと騒ぎありました。◎後ろには2メートルほどの櫂を持った船頭さん（兼ガイド）が乗り込みます。ちょうどベニス Gondola みたいな感じです。ちゃんと椅子の下にドリンクを積んであるので、船頭さんに注文したら、冷たい飲み物（もちろんビールも）を飲みながら観光できます。約2時間の運河巡りに出発!



自分でボートを漕ぎたい! という人はこんな2-3人乗りのパドルボートを借りることもできますよ。



太陽と木と草と水。別世界の美しさでした。聞こえるのはボートの進む水の音と虫の音。



なにやら怪しい所に到着。ゲートのようなところは運河の水位調整のための水門です。開閉は全て手動です！（チップをお忘れなく！）



水門が開いて、その下を通ります。（もちろん水が落ちてきて、もれなく濡れます。☺）



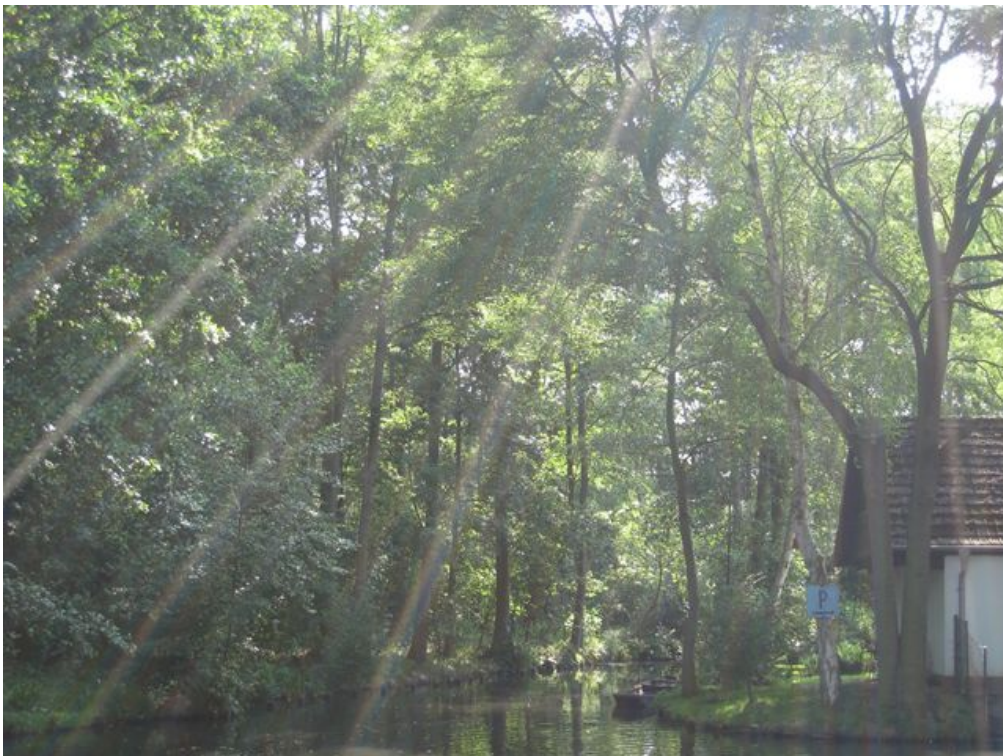
この運河は生活水路でもあるので、もちろん人も住んでいます。これは伝統的な建物。あとは休暇用のコテージやホテルなんかもたくさん。1週間ばかりこんなところで休暇も楽しそうです。



船頭さんは立って櫂で船を漕いでいるわけですが、運河にはところどころにこんな感じで、木の橋が架かっています。時々、座っていても、ぶつからないかな？と心配になるくらい低い橋もあります。ふと「船頭さんは！？」と思って後ろを向くと、船頭さん、「橋を通る時は結構大変。」なんて言いながら、二つ折れになって小さくなっていました。みんな大爆笑です。



時々、別のKahnとすれ違います。客観的にみると、小舟に結構な人数が乗っていて、変な感じです。☺



写真だけで伝えるのは至難の業ですが、ホントに超絶的に（大げさ？）に美しいところでした。

ちょっと大作になりそうなので、次回に《つづく》